

淑女検定

☑ チャレンジテーマ

テディベア

雨が多いこの時季はおうち時間が増えるもの。こんな時こそ雨音を聞きながら、心を込めてチクチク。世界に一つだけのテディベアを作ってみよう。目の位置、鼻の色、柔らかさ。さてあなたのお好みは？



問題 1 「100年持つ」と言われるテディベア。材料として正しいのは？ 二つ選んで。

- A. ガラス製の目
- B. 手足をつなぐジョイント
- C. 毛布
- D. 人工知能



Teddy!

問題 2 テディベアの“テディ”の由来とは？

- A. 少年テディが愛用していたから
- B. 子熊のテディをまねて作ったから
- C. 第16代米大統領、エーブラハム・リンカーンの愛称
- D. 第26代米大統領、セオドア・ルーズベルトの愛称

問題 3 テディベアを作る時、表情の決め手となる目の位置。どうやって決める？

- A. 目と目の長さが決まっている
- B. キュンとする瞬間で決める
- C. 下描きをする
- D. 耳と耳の長さ×0.5



SBS学苑
パルシェ校

今月の
先生



【私のテディベア】講師
坂元 あゆ美 さかもと あゆみ
(テディベア作家)

ドイツ製モヘアなど本格的材料を使用。個々のペースに合わせた少人数制クラス。

SBS学苑パルシェ校
INFORMATION

6/26(月) 13:00~16:00

手で編む布ぞり
～素肌に優しいタオル地～

受講料/2,700円 教材費/3,240円
講師/小石 正子(オリジナル室内履き作家)

“手編み草履界のカリスマ”講師が指導する作品は、履いている人の足に自然となじんでくると人気。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-253-1221

正解 & 解説

問題 1 → 正解 A・B

きちんとした材料を使えば、テディベアは「100年持つ」と言われている。そのため世界中にアンティークの愛好家がいる。目にはガラスを使用。赤や青、緑などもあり、色が違うだけで大きく印象が変わる。手足など5カ所を接続するジョイントは「ハードボードジョイント」といい、一部金属を使っている。生地は毛布ではなくアンゴラヤギの毛を加工したモヘア。滑らかな手触りと光沢、ゆるやかなウエーブが特徴だ。

問題 2 → 正解 D

今から115年前、愛称テディの第26代米大統領のルーズベルトが熊狩りに出掛けた際、子熊を逃がしてあげたことに由来する。その話が風刺画になると、登場する子熊が人気を集め、お菓子屋さんがクマのぬいぐるみ“テディベア”を作ったのが始まりとされる。今も世界中で愛されているテディベア。自分でも作る楽しさもある。「作り手の顔やベットに似た仕上がりになるのでより愛着が湧きますよ」と坂元先生。

問題 3 → 正解 B

表情作りは最も難しい工程。目の位置はアイサイズチェッカーというまち針のような道具を使って適切な場所を探し、「キュンとする瞬間」で決める。位置が決まっているわけではない。鼻は楕円や三角、丸など形もさまざま。鼻回りは先の細いはさみで“トリミング”してあげる。口を付けて首にリボンを飾れば出来上がり。手作りテディベアは一生もの。結婚や子どもの誕生の記念に作るのもいいかもしれない。